

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 腹腔鏡下胆嚢摘出術における術中因子からみた難度評価に関する検討』

【研究組織】

主要研究施設: 東邦大学医療センター大橋病院 外科 浅井浩司

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 外科 職位・氏名 准教授 浅井 浩司

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院外科では、腹腔鏡下胆嚢摘出術において手術因子からみた難度評価に関する検討を行っています。この研究で得られる成果は、腹腔鏡下胆嚢摘出術の安全性の評価に役立つことが期待されます。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター(大橋病院)倫理委員会の承認を得て実施するものです。
対象者: 2017年3月1日～2022年6月31日までに東邦大学医療センター大橋病院において、腹腔鏡下胆嚢摘出術を施行した患者さん 1,021名を対象としています。

方法:

- ・診療録から抽出したデータを解析します。
- ・データは匿名化を施した上で症例報告書(case report form: CRF)を作成します。
- ・研究に関するデータおよび関連資料は、研究の終了後少なくとも5年間保管し、その後、匿名化した状態で廃棄(消去)します。

【研究に用いられる試料・情報】

【術前因子】

年齢、性別、併存疾患、対象疾患、術前胆道評価、胆嚢炎の既往の有無、など

【術中因子】

術者因子(年数、内視鏡外科技術認定医の有無)、手術難度因子評価、難度分類、手術時間、出血量、術中合併症(胆管損傷の有無)、開腹移行、など

【術後因子】

術後在院期間、術後合併症、再入院の有無、退院後合併症(腹腔内膿瘍、胆管狭窄など)、など

【研究組織】

代表施設名: 東邦大学医療センター大橋病院 外科

研究代表医師: 浅井 浩司 役職: 准教授

【個人情報について】

研究に利用する情報は、患者様のお名前、住所など、個人を特定できる個人情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果は、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告される可能性があります。個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院外科

職位・氏名 准教授 浅井 浩司

電話 03-3468-1251 内線 7176